




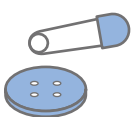
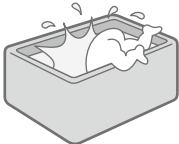









●子どもの事故を防ぐために

乳幼児の死亡原因の第一位は、不慮の事故です。子どもを危険から守るために、保護者の気配りが大切です。

	多い事故ベスト3	起こりやすい事故	気をつけようポイント
10 小学校 11 仕事と 子育て 12 悩みごと 相談	生後3か月頃まで	 <p>ふとんでの窒息</p>  <p>ホットカーペットでの低温やけど</p>  <p>抱いたまま車に乗っての事故</p>	<p>◎うつぶせに寝かせないようにしていますか。</p> <p>◎チャイルドシートをとりつけて車に乗っていますか。</p>
13 虐待を 防ごう	3か月～6か月頃 1位 転落 2位 誤飲	 <p>たばこや小さなおもちゃの誤飲</p>  <p>ベッドからの転落</p>	<p>◎たばこの後始末はしていますか。</p> <p>◎ベッドの柵を必ず上げていますか。</p> <p>◎熱湯の取扱いに注意していますか。</p>
14 おでかけ	6か月～1歳頃 3位 打撲・外傷	 <p>手に届くものの誤飲</p>  <p>風呂場での転落・おぼれ</p>  <p>ストーブやヒーターでのやけど</p>	<p>◎赤ちゃんの手の届くところに危ない物を置いていませんか。</p> <p>◎風呂場に入れないようにしたり、階段や危険な窓に柵はありますか。</p> <p>◎ストーブや扇風機に近づけないようにしていますか。</p>
15 安心・安全	1歳頃～3歳頃 1位 転落 2位 打撲・外傷	 <p>コンセントのいたずらによる感電</p>  <p>洗濯機での転落・おぼれ</p>  <p>袋をかぶつての窒息・衝突</p>	<p>◎コンセントを危なくないようにしていますか。</p> <p>◎洗濯機の近くにふみ台になるものはないですか。</p>
16 病気・事故	4～5歳頃 3位 交通事故	 <p>マッチやライターでの火遊び</p>  <p>道路への飛び出し</p>  <p>テラスや窓からの転落</p>	<p>◎ベランダにふみ台になるものはないですか。</p> <p>◎のどにつまりやすいもの（ナッツ類、あめ）は注意して与えましょう。</p>

★救急箱は取り出しやすい場所に置いておきましょう。

★6歳未満の乳幼児を乗車させる時は、チャイルドシートの装着が義務づけられています。

★自転車に乗るときは、子どもにはヘルメットを着用させましょう。

児童・幼児を自転車に乗車させるときは、乗車用ヘルメットをかぶせるようにしましょう。子どもが自転車から落ちて、死亡したり後遺症が残ったりする主な原因は頭部打撲です。自転車は倒れやすいものなので、子どもを守るためにも必ずヘルメットを着用させましょう。

※その時期をすぎても注意しましょう。

●中毒事故の応急処置（何を飲んだか確かめる）

異物を飲み込んだら ○=してよい ×=してはいけない

品 目	水か牛乳を飲ませる	吐かせる	その後の処置
たばこ（2cm以上は危険）、灰皿の水	何も飲ませない	○	すぐに病院へ
漂白剤、かびとり剤	○	×	すぐに病院へ
トイレ用洗剤、タイル用洗剤など	○	×	すぐに病院へ
医薬品	○	○	すぐに病院へ
ボタン電池	何も飲ませない	×	すぐに病院へ
マニキュア、除光液	何も飲ませない	×	すぐに病院へ
農薬、殺虫剤	何も飲ませない	×	すぐに病院へ
灯油、ベンジン、シンナー、ガソリン	何も飲ませない	×	すぐに病院へ
ガラスの破片、針、ヘアピンなど	何も飲ませない	×	すぐに病院へ
香水、ヘアトニック	○	○	病院へ
ナフタリン	牛乳は×	○	病院へ
芳香剤、消臭剤	○	○	病院へ
入浴剤、洗濯用洗剤、台所用洗剤	○	○	
石けん、シャンプー、リンス	○	○	
クリーム、ファンデーション、口紅	○	○	
歯磨き剤	○	○	
蚊取り線香、蚊取りマット	○	○	
紙おむつ	○	○	
インク、鉛筆、クレヨンなど	○	○	

資料：不慮の事故と救命手当 乳幼児の事故予防・救命手当マニュアル

●心配なし、あわてずに対処しましょう

- ◎歯みがき剤（フッ素入りのものは体重10kgあたり5gまでなら心配ありません）
- ◎液体電気蚊とり器（体重10kgあたり1mlまでなら心配ありません）
- ◎紙オムツ、えんぴつ、クレヨン、マッチ、蚊とり線香、蚊とりマット、シリカゲル（乾燥剤）、口紅、クリーム、乳液、ベビーオイル、ベビーローションなど

吐かせ方

のどの奥（舌のつけ根）に指を
つつこんで吐かせる。



誤飲！ のどに詰まったときの吐かせ方

●1歳くらいまで

股の下から手を入れて
前ひじにまたがせる。
頭を胸の位置よりも寄
りも低くして、4～5回
背中をたたく。



●少し大きい子のとき

うつぶせにして、ひざで子どものみぞおちを圧迫
するようにする。
気道をふさがないようにのどをまっすぐにする。



こんなときは吐かせないで

- ① 灯油・シンナー等揮発性物質を誤飲したとき
- ② 強酸・強アルカリ性物質や腐食性毒物を誤飲したとき
- ③ 昏睡状態だったり、けいれんを起こしているとき
- ④ ショック状態のとき
- ⑤ 生後6か月以内の場合
- ⑥ とがったものを飲み込んだとき

（財）日本中毒情報センター

中毒110番／相談・情報無料

- 大阪／072-727-2499
（365日24時間対応）
- つくば／029-852-9999
（365日9～21時間対応）
- タバコ専用電話／072-726-9922
（365日24時間対応・テープによる情報提供）

化学物質（タバコ、家庭用品など）、医薬品、動植物の毒などによって起こる急性の中毒について情報提供しております。

なお、異物誤飲（石ころ、ビー玉など）や食中毒、慢性的中毒（アルコール中毒、シンナー中毒）や常用量での医薬品の副作用は受けつけておりません。

おなかを抱えて、逆に
勢いよく持ち上げる。

乳幼児突然死症候群（SIDS） 発症の予防のために

- ◎うつぶせ寝はやめて、仰向に寝にしましょう。
ただし、医学上の理由から医師がうつぶせ寝を勧める場合は、医師の指導に従いましょう。
- ◎できるだけ母乳で育てるようにしましょう。
- ◎妊娠中や赤ちゃんの周囲ではたばこを吸うのはやめましょう。